

特集

教えて!  
広報さん

子どもの方がくわしい!?



# 東山小のSDGs

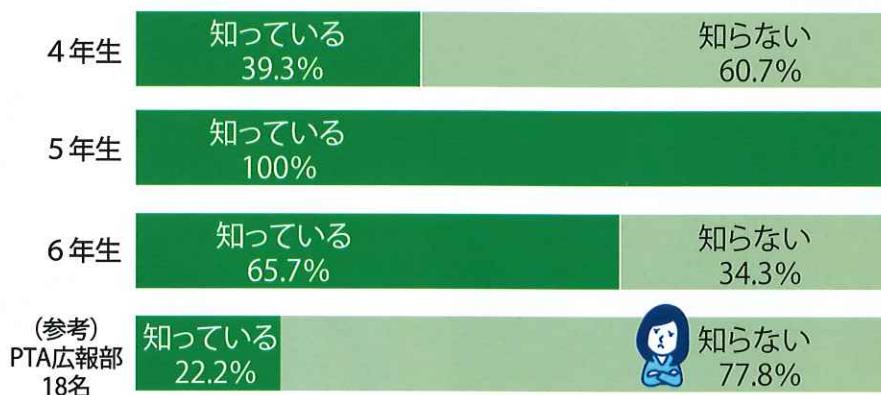


最近、よく『SDGs』という言葉を耳にします。詳しいことは分からぬといふ方、きっと多いのではないでしょか。9月に行われた5年生の授業参観で、児童たちが発表した内容こそまさに『SDGs』、自分達が住んでる地域のゴミ問題などをクロームブックで調べて新聞記事を作りました。

2015年に国際連合サミットで採択された【持続可能な開発のための2030アジェンダ】に定められた17の目標が『SDGs(持続可能な開発目標)』、これだけでは何のことやら?と思ひますが、「世界のすべての人が取り残されずに、安全安心な人間らしい暮らしができること、地球に住み続けられるよう環境問題も解決・改善すること」を目標としています。地球規模で物事を考えるなんて壮大すぎて無理!!と思われるかもしれません、国や企業、地域のみんな一人ひとりがやれることから始めることが、子どもたちの未来に繋がっていくのだと思います。

そこで4~6年生を対象に、意識調査を行いました。

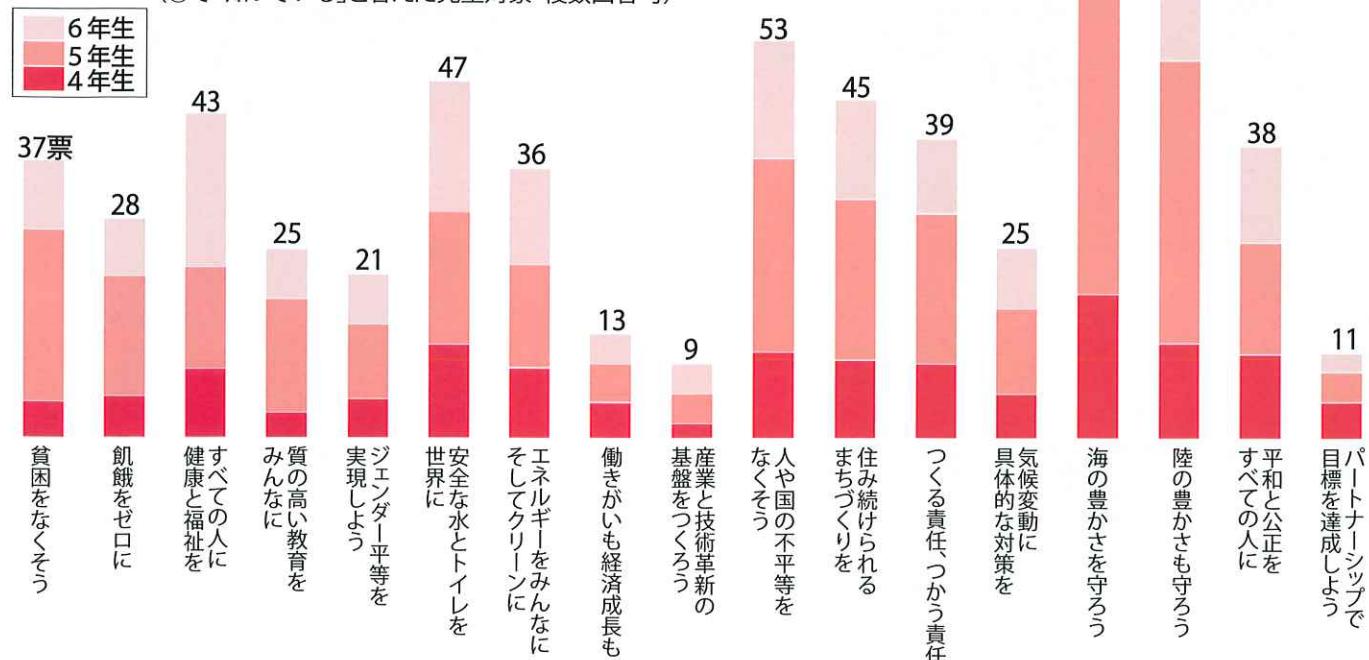
## ①SDGsって知っている?



5年生の授業参観での児童発表

## ②17の目標の中すでに取り組んでいる、これから取り組みたいことは何ですか?

(①で「知っている」と答えた児童対象・複数回答可)



### ③これらの問題は、どうすれば良くなると思いますか？

(主な意見を抜粋)

#### ゴミ問題

- ・必要のないレジ袋はもらわない
- ・マイバックやマイボトルを使う
- ・プラスチック製品を無駄に買わない
- ・海にゴミを捨てない
- ・ゴミは分別して捨てる



#### エネルギー問題

- ・こまめに電気は消す
- ・水道は出しっぱなしにしない
- ・時間を決めて使う

#### 食品ロス

- ・賞味期限が近いものから使う
- ・(スーパー等で)食品は手前から取る
- ・食べ物は作りすぎないようにする
- ・給食を残さず食べる
- ・給食は食べられる分だけよそう
- ・いろいろな料理を発明する
- ・食べ残しは動物に食べてもらう

#### 地球温暖化

- ・車の排気ガスの排出量を減らす
- ・ハイブリッド車にする
- ・できるだけ車を使わず歩く
- ・木を切り倒すのではなく再生紙を使う
- ・生き物の住む場所を奪わない

#### 争いのない平和な社会

- ・自分が嫌なことは人にはしない
- ・先生や大人たちが、子どもが相談しやすい環境をつくる
- ・友達とけんかをしたら話し合いをして、まわりをまきこまない

### ④もしあなたが日本の総理大臣だったら？

(主な意見を抜粋)



- ・ゴミを回収するボランティアを作る
- ・各家庭にエコバックを配る
- ・朝10分必ず家の周りのゴミ拾いをするルールを作る
- ・各学校でSDGsの解決方法を集める
- ・世界の人にSNSで呼びかける
- ・広告を出し注意喚起する
- ・「ゴミの排出量を減らすキャンペーン」を行う
- ・自らお手本になるようなことをする
- ・税金を高くしてSDGs問題に使う
- ・世界中と良い関係をつくり、新たなエネルギー開発に力を注ぐ
- ・「SDGsは身近な問題だ」ということを説明する

### SDGsと学校教育

北海道教育委員会は、策定中の「北海道教育推進計画」の素案の中で、「子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進」を柱として示し、その施策項目の1つ目に「SDGs・ESD<sup>\*</sup>の推進」を掲げています。

このように、学校教育には「持続可能な社会の形成者」となる子どもたちのために、SDGsを念頭に置いた教育活動を推進することが求められています。

各学校は、「環境教育」や「人権教育」、「福祉教育」、「国際理解教育」など、様々な今日的な課題を解決する担い手を育てるための教育活動を期待されてきましたが、こうした学習内容は従前から各教科の指導内容に包含され、螺旋的・反復的に身に付けることができるようカリキュラムが編成されています。

主に社会科や家庭科、総合的な学習の時間、道徳などでは、持続可能でよりよい世界を形成するための素地を養う学習内容が位置付けられています。また国語科でも、こうした視点で取り上げられている教材が多数あります。

機会があれば、ご家庭で「SDGsのフィルター」を通して、ご家族で教科書をご覧になってみてください。(主に高学年の学習内容ですが、その学びを支える基礎的な内容が低・中学年にあります)新たな発見があると思いますよ。

\* ESD…持続可能な開発のための教育



永井貴之 校長先生

SDGsの目標は2030年までに達成を目指しています。今から8年後、地球はより住みやすくなっているでしょうか?自分の周りの身近なもの、すぐにでも取り掛かれそうな問題を親子で考えてみるのも良いかもしれませんね。

もっと!

SDGsを動画で  
わかりやすく解説  
日本ユニセフ協会ページ

